F SPORT PARTS

MS341−11001／2／3
フロントスポイラー

取付・取扱要領書

この度はF SPORT PARTSフロントスポイラーをお買い上げ頂きありがとうございます。
本書には、上記商品の取付・取扱要領について記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合

品番	塗装色	適合車種	型式	年式	備考
MS341-11001-A1	ﾎﾜｲﾄﾉｰｳﾞｧｶﾞﾗｽﾌﾚｰｸ(083)	LC500 LC500h	URZ100 GWZ100	'17.03～	
MS341-11001-C0	ﾌﾞﾗｯｸ(212)				
MS341-11001-C2	ｸﾞﾗﾌｧｲﾄﾌﾞﾗｯｸｶﾞﾗｽﾌﾚｰｸ(223)				
MS341-11002-NP	未塗装品(ﾌﾟﾗｲﾏｰ処理品)				
MS341-11003	ﾌﾞﾗｯｸ(212)				

＊ディーラーオプションを含み、他社製品との同時装着は出来ません。

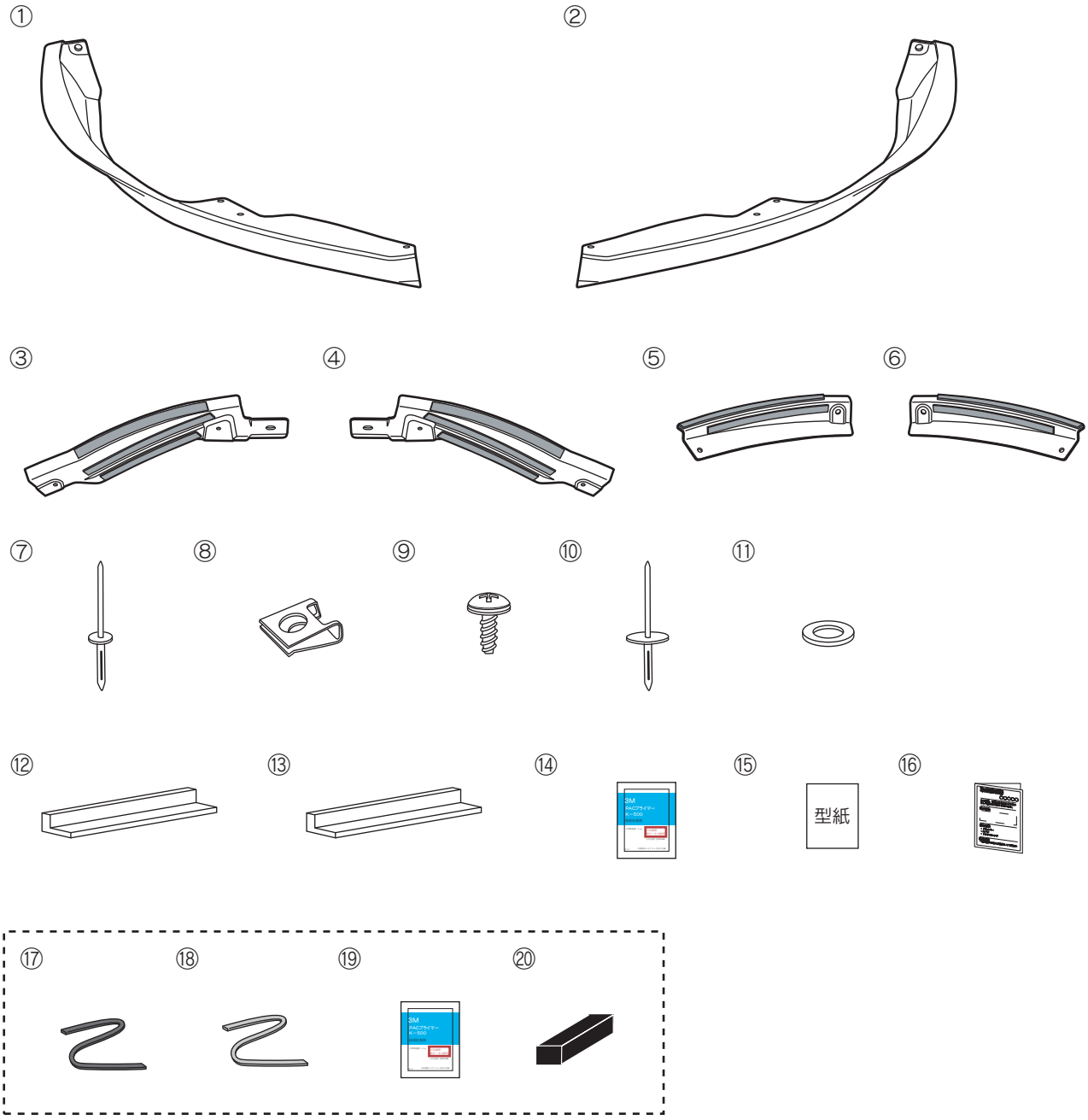
※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品

	部品名	品番	数量	備考
①	フロントスポイラーRH		1	
②	フロントスポイラーLH		1	
③	別ピースA RH		1	
④	別ピースA LH		1	
⑤	別ピースB RH		1	
⑥	別ピースB LH		1	
⑦	三つ割れリベット		13	スモールフランジ（予備1個を含む）
⑧	Ｊナット		2	
⑨	タッピングスクリュー		2	
⑩	三つ割れリベット		11	ラージフランジ（予備1個を含む）
⑪	樹脂ワッシャー		2	
⑫	フロントエアロスパッツ ＲＨ	MS349-11001(R/Lｾｯﾄ)	1	
⑬	フロントエアロスパッツ ＬＨ		1	
⑭	ＰＡＣプライマー		1	Ｋ−５００
⑮	型紙		1	Ａ４シール
⑯	取付・取扱要領書		1	本書は大切に保管してください。

	部品名	品番	数量	備考
⑰	モール		2	黒　Ｌ＝５００mm
⑱	モール		2	グレー　Ｌ＝５００mm
⑲	ＰＡＣプライマー		1	Ｋ−５００
⑳	エプトシーラー		2	

■ 構成部品



⑰⑱⑲⑳は未塗装品にのみ同梱

取付け上のご注意（取付け作業者の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。

⚠警告	この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。
⚠注意	注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。
アドバイス	スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⃠ **やってはいけないこと**　　❗ **必ず行なっていただくこと**

⚠警告

⃠ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。

❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。

❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。

⚠注意

❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。

❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用して確実な脱脂を行ってください。
指定以外のシリコンオフは使用しないでください。

❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。

❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。

❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。
温度が足らないと両面テープが剥がれます。

❗ 両面テープの圧着は49N（5kgf）以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。
圧着が足らないと両面テープが剥がれます。

⃠ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。
装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。

❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。

❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので70℃以下で乾燥させてください。

取付けが終わったら

❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。

❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

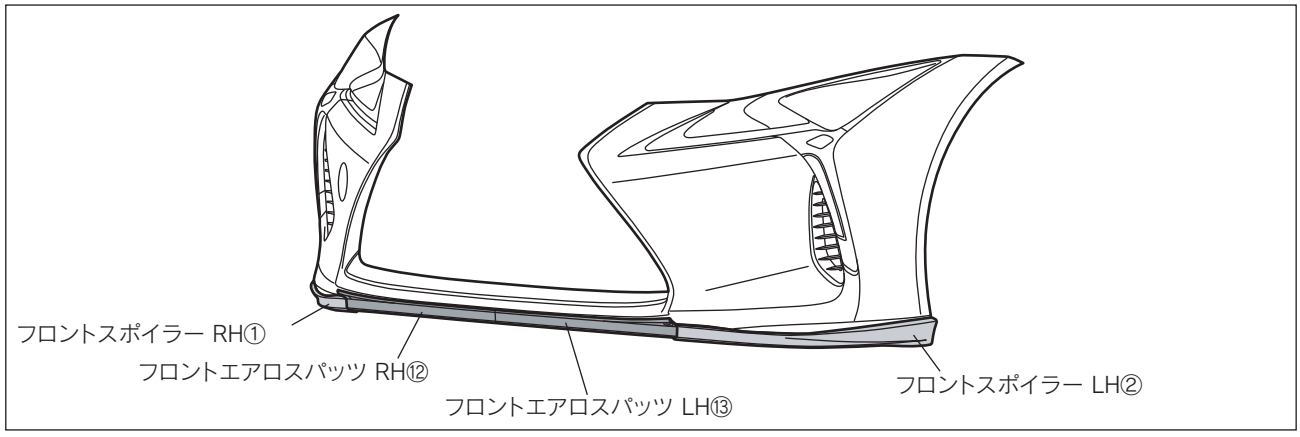
■ 目次

１．表紙、適合表、構成部品表、構成部品図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１、２
２．取付け上のご注意（取付け作業者の方へ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
３．目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図・・・・・・・・・・・・４
４．取付け要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４～１３
５．取付け後の確認・点検・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

・加工用工具（ハサミ、カッター、ドリル、キリ、ホルソー等）・ヤスリ・リベッター
・保護メガネ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・ガムテープ
・イソプロピルアルコール（ＩＰＡ）・清潔なウエス

■ 取付構成図



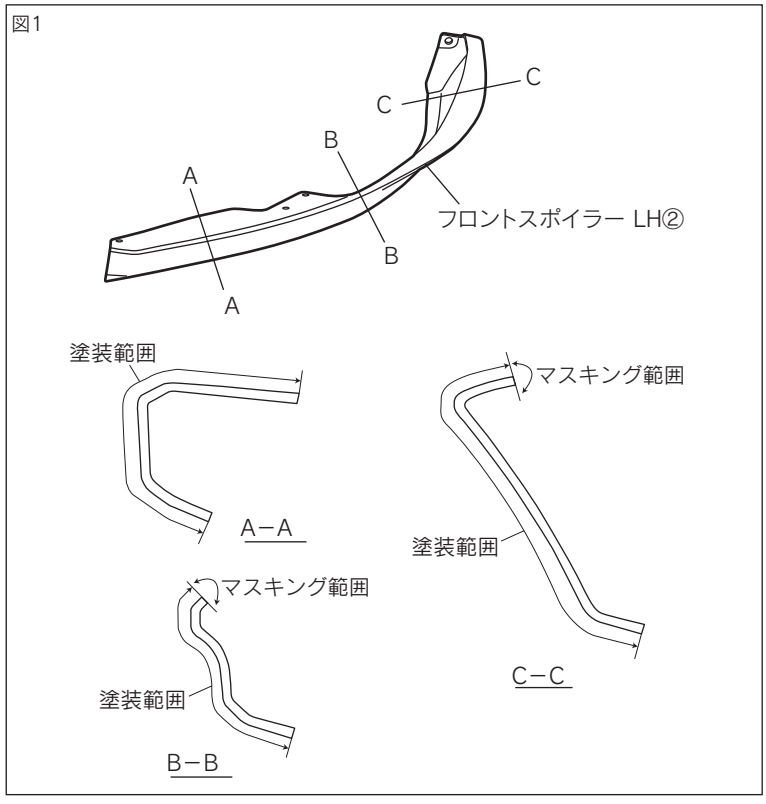
■未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品(MS341-11002-NP)の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。

□フロントスポイラーの塗装

※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

図1



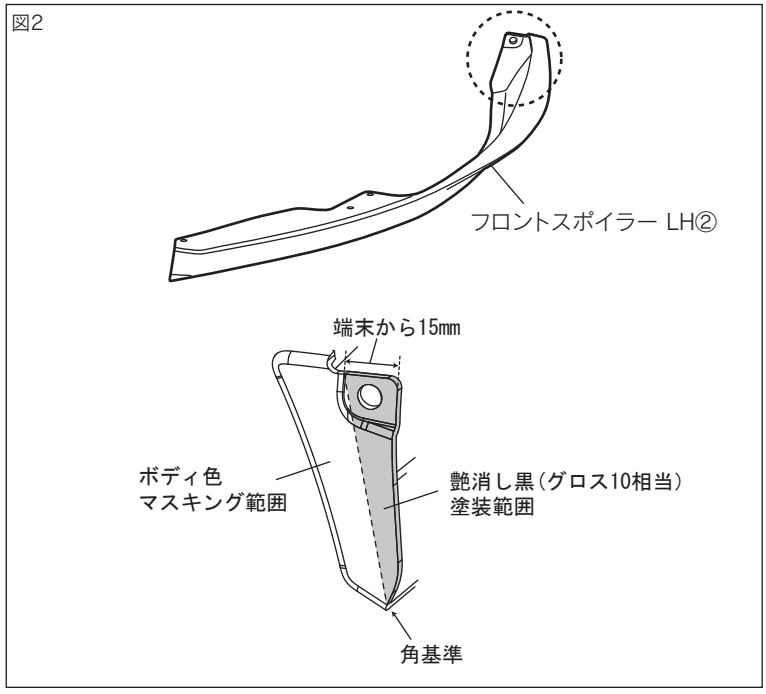
□フロントスポイラーの塗装

1.図1のようにフロントスポイラーLH②をボディー色で塗装する。

⚠注意：脱脂をする場合は、イソプロピルアルコール（以下、IPAという）を使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。
プライマーが溶ける恐れがあります。

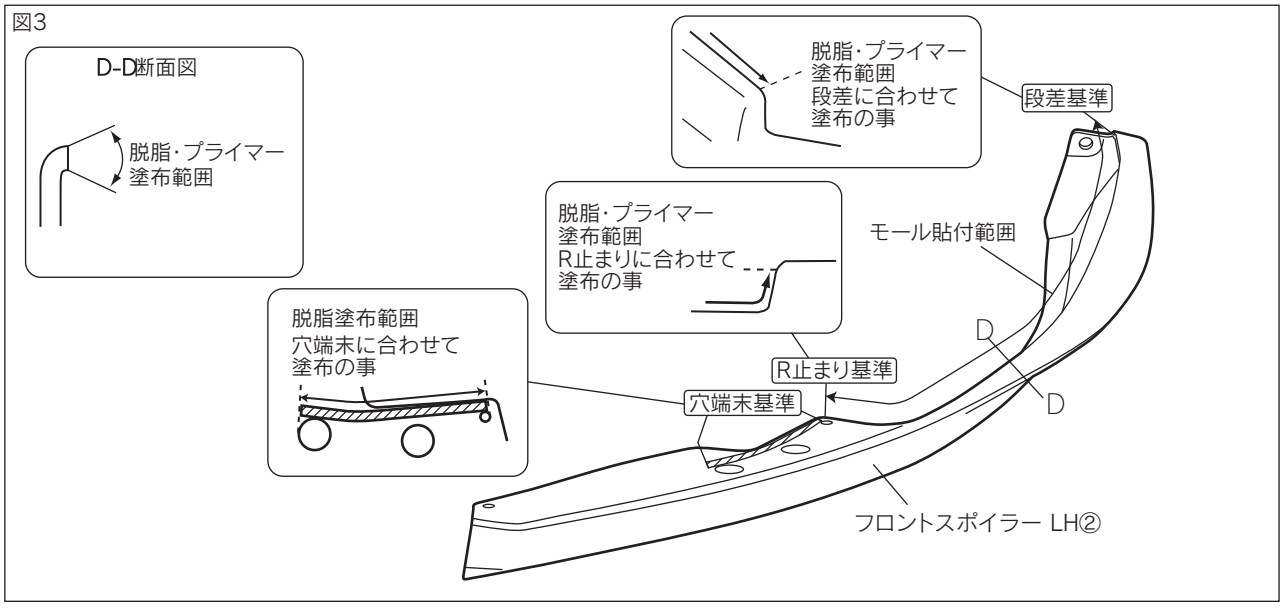
⚠注意：モール貼付面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。
接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

⚠注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので、乾燥温度には充分注意してください。
強制乾燥させる場合は、製品が変形しないように固定してください。



2.図2のようにフロントスポイラーLH②にマスキングし、艶消し黒（グロス10相当）で塗装する。

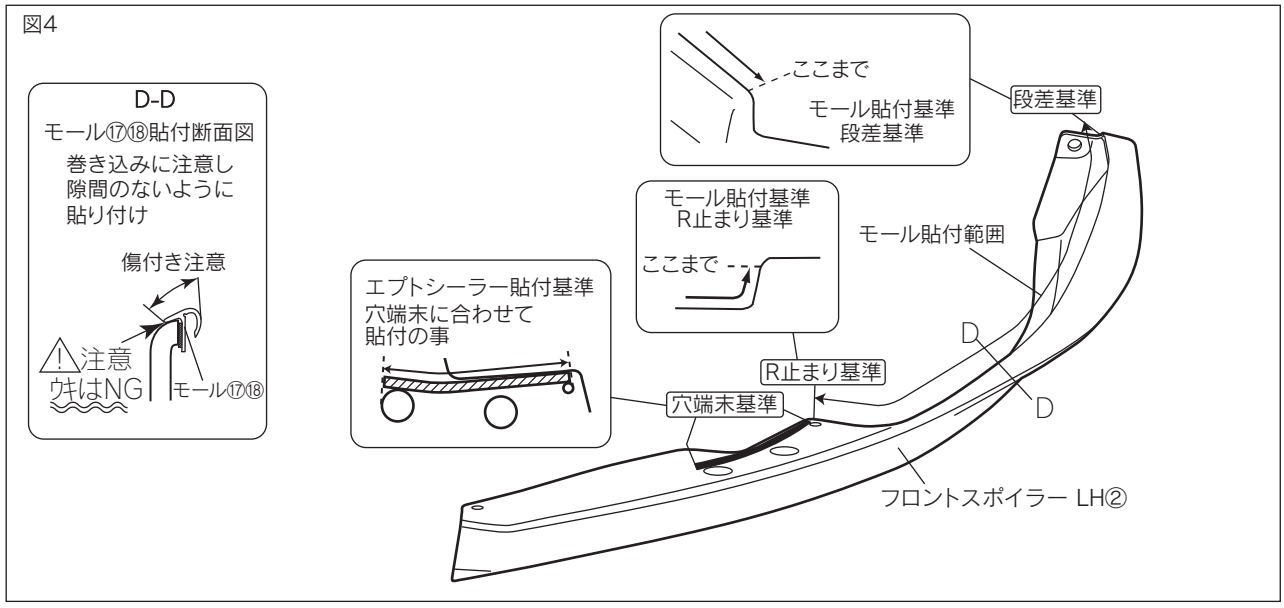
□モール・エプトシーラーの貼付け



1.図3のようにモール貼付部の汚れを取除きIPA一方向にふいて脱脂し、PACプライマーK−500⑲を塗布する。
図3のようにエプトシーラー貼付部の汚れを取除きIPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂する。

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。



2.図4のようにフロントスポイラー②に、モール⑰⑱の離型紙を剥がしながら、貼付け確実に圧着する。
【４９Ｎ（５ｋｇｆ）以上】

図4のようにフロントスポイラー②に、エプトシーラー⑳の離型紙を剥がしながら、貼付け確実に圧着する。

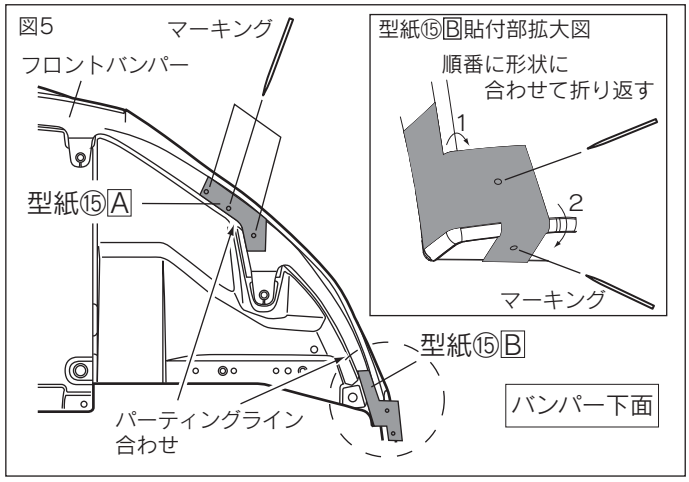
アドバイス：モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落としてください。

⚠注意：モール⑰⑱は、二色同梱されています。塗装色に合わせて、モール色を選択し貼付けてください。

⚠注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

■ モール設定　推奨カラー表

カラーNo.	カラー名	推奨モール色
083	ホワイトノーヴァガラスフレーク	グレー
1G0	ダークグレーマイカ	ブラック
1J2	ソニックシルバー	グレー
1J7	ソニックチタニウム	グレー
1L1	ソニッククロム	ブラック
1L2	ソニックイリジウム	グレー
223	グラファイトブラックガラスフレーク	ブラック
3S0	ガーネットレッドマイカ	ブラック
3T5	ラディアントレッドコントラストレイヤリング	ブラック
4X2	アンバークリスタルシャイン	ブラック
4Y5	ソニックカッパー	ブラック
5C1	ネープルスイエロー	グレー
6X4	テレーンカーキマイカメタリック	ブラック
8X1	ヒートブルーコントラストレイヤリング	ブラック
8X5	ディープブルーマイカ	ブラック

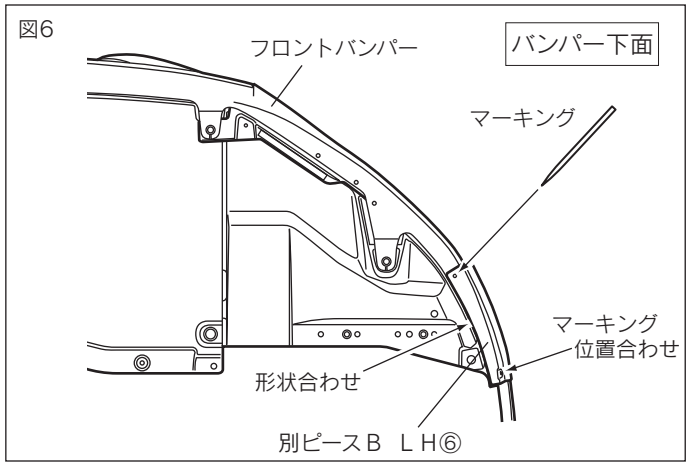


□取付準備

1. 図５のように、型紙⑮Ａ、Ｂを台紙から剥がし、フロントバンパーの下面部に貼付け、穴センターにマーキングを行い、型紙⑮Ａを剥がす。（左右各５箇所）

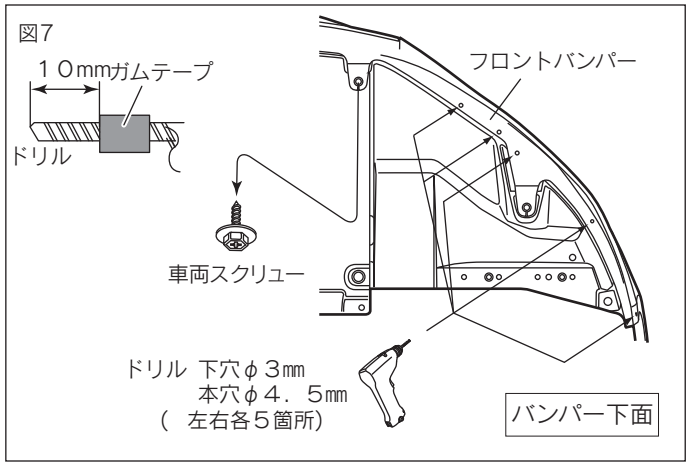
⚠注意：型紙端末がずれていると穴あけ位置がずれてしまうため、型紙の貼付けは正確に行ってください。

アドバイス：穴あけ位置のマーキング後にフロントスポイラーを仮合わせして、マーキング位置とスポイラーの穴位置を確認してください。



2. 図６のように、別ピースＢ　ＬＨ⑥を型紙⑮Ｂのマーキング位置に合わせて、フロントバンパーの下面部穴センターにマーキングを行う。（左右各１箇所）

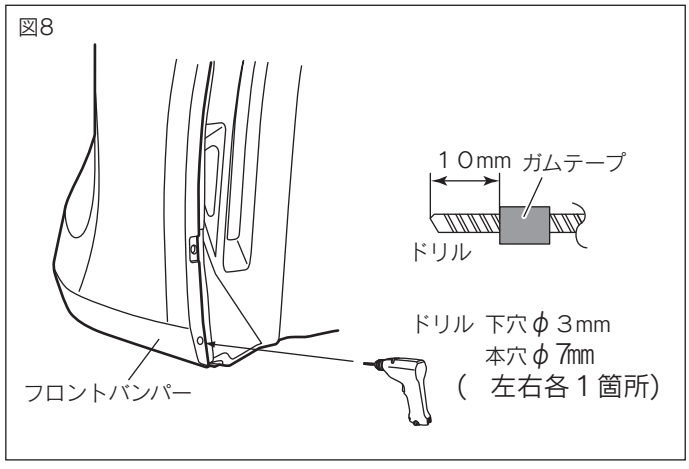
アドバイス：穴あけ位置のマーキング後にフロントスポイラーを仮合わせして、マーキング位置とスポイラーの穴位置を確認してください。



3. フロントバンパーより車両スクリューを取外す。（左右各１箇所）

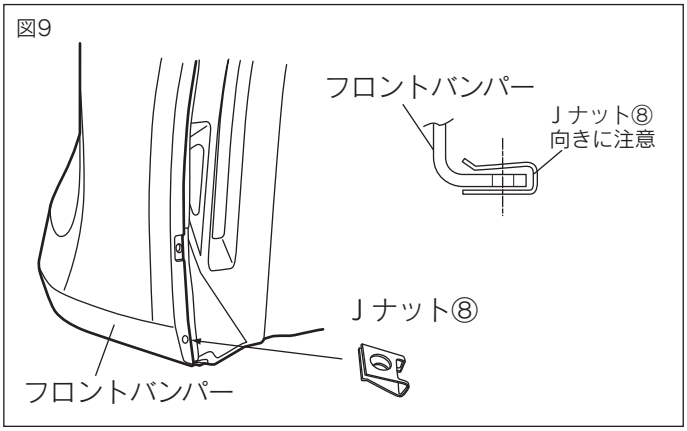
⚠注意：車両クリップは再使用しますので紛失しないよう保管してください。

4. 図7のように使用するドリルの先端にストッパーとなるよう10mmの位置にガムテープを巻きつけφ3mm、φ4.5mmの順にドリルを使用して、フロントバンパーのマーキング位置に穴をあけ、穴のバリを取除く。（左右各5箇所）



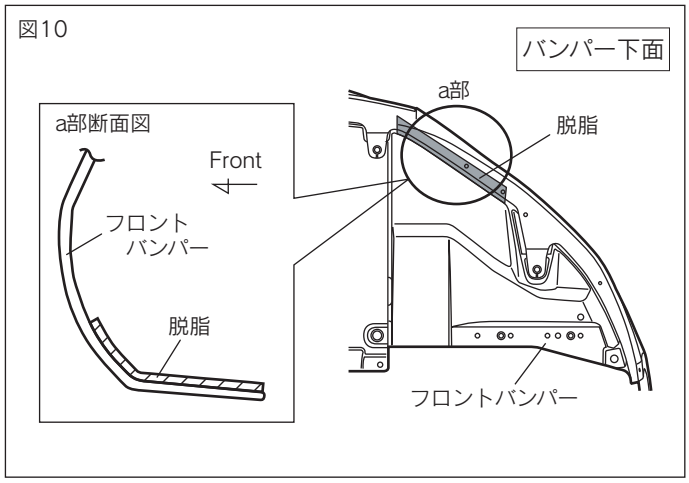
5. 図8のようにφ3mm、φ7mmのドリルの先端にストッパーになるよう10mmの位置にガムテープを巻きつけφ3mm、φ7mmの順にドリルを使用してフロントバンパーのマーキング位置に穴をあけ、穴のバリを取り除く。型紙⑮Ｂを剥がす。（左右各１箇所）

図9



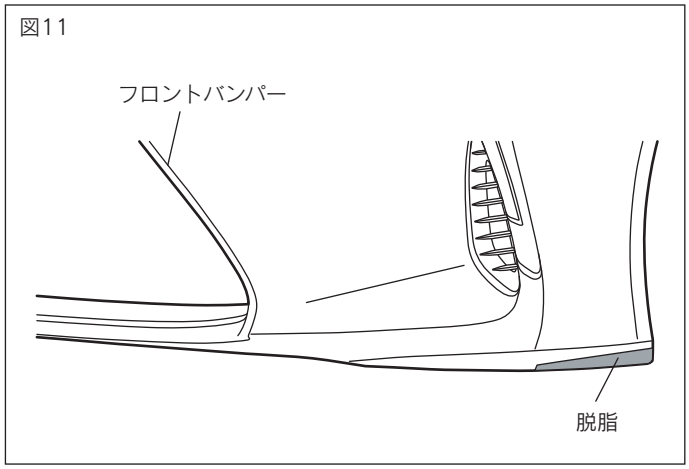
6.図９のようにフロントバンパーホイルハウス部にＪナット⑧を差し込む。
（左右各１箇所）

図10



7.図１０のようにフロントバンパーの別ピースA④取付部の汚れを取除き、IPAで一方向にふいて脱脂する。

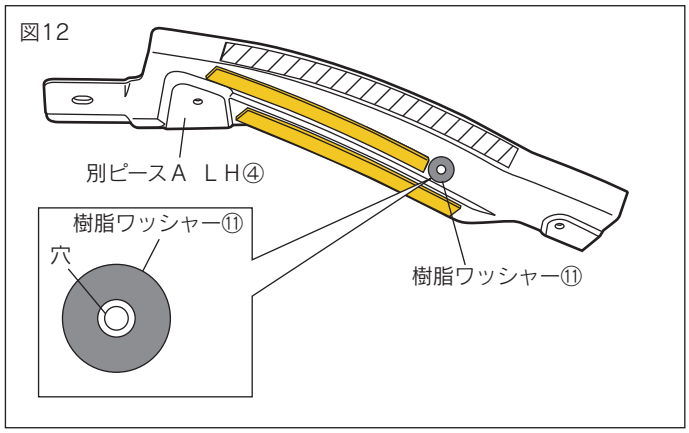
図11



8.図１１のようにフロントバンパーの別ピースB⑥取付部の汚れを取除き、IPAで一方向にふいて脱脂する。

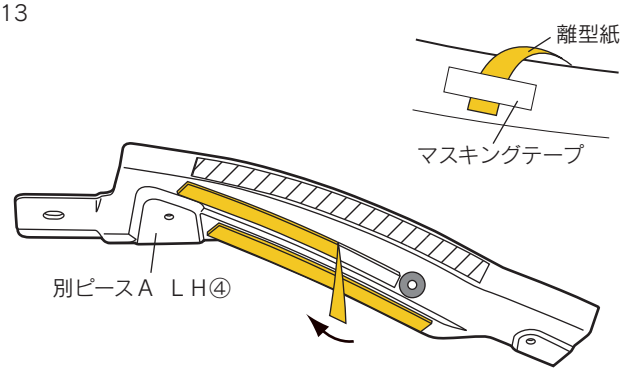
⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

図12



9.図１２のように、穴の中心に樹脂ワッシャー⑪の中心を合わせ、貼付ける。
（左右各１箇所）

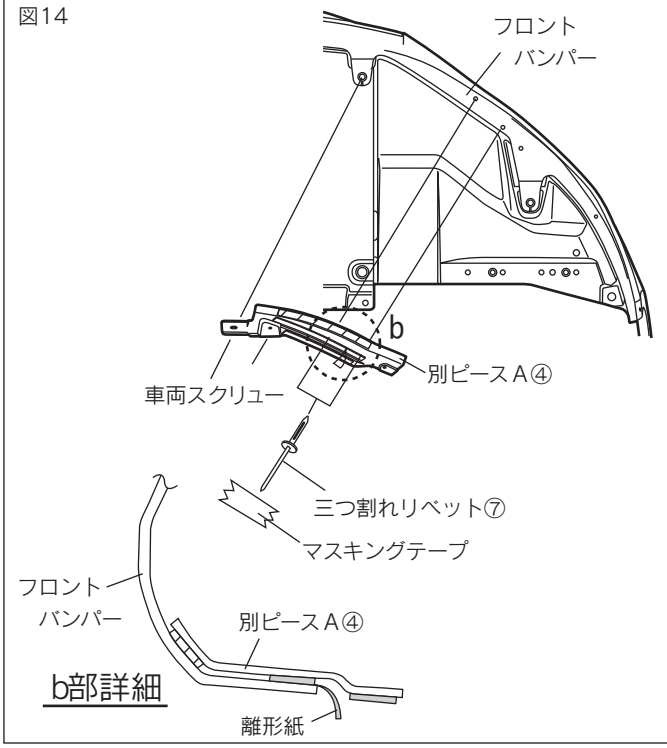
図13



10.図13のように、別ピースA LH④の両面テープの離型紙を、矢印の向きに約30mm剥がし、マスキングテープで裏側に貼付ける。（左右各1箇所）

⚠注意：両面テープの離型紙を全て剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

図14



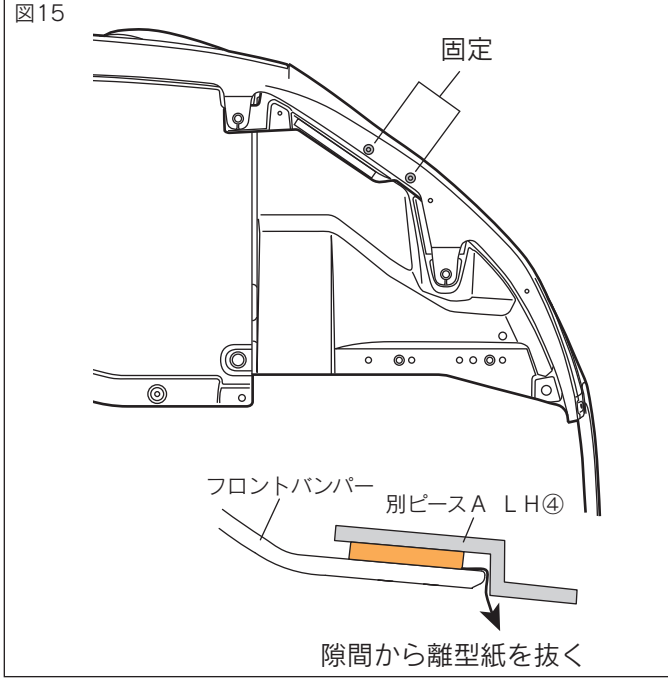
11.図14のように、別ピースA④をフロントバンパー裏側に差込み、車両クリップを差し込む。（左右各1箇所）

12.図14のように、三つ割れリベット⑦を差し込み、マスキングテープ等で貼付けて仮固定する。（左右各2箇所）

⚠注意：三つ割れリベットの固定は離型紙を剥がした後に作業を行ってください。
この時点で三つ割れリベットを固定してしまうと離型紙が剥がせなくなる場合があります。

⚠注意：三つ割れリベットにはスモールフランジとラージフランジの２種類が同梱されていますので、間違えないように注意してください。

図15



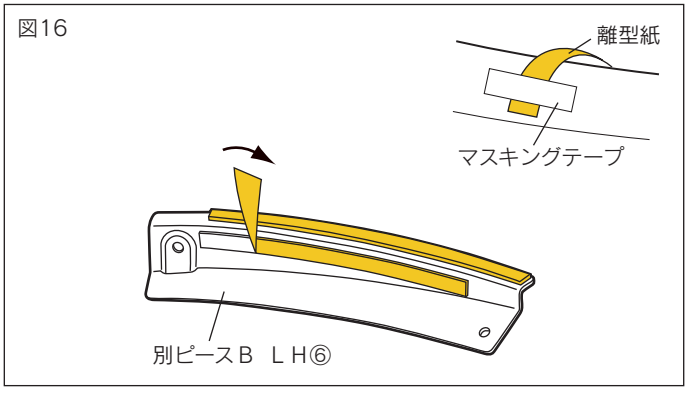
13.図15のように、別ピースA④をフロントバンパーに押し当て、両面テープの離型紙(左右各1箇所)を剥がしながら貼付け圧着する。
{49N(5kgf)以上}

14.作業12で仮固定した三つ割れリベット⑦を本固定する。（左右各2箇所）

⚠注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約４０℃程度に暖めてください。

⚠警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥がれが発生する恐れがあります。

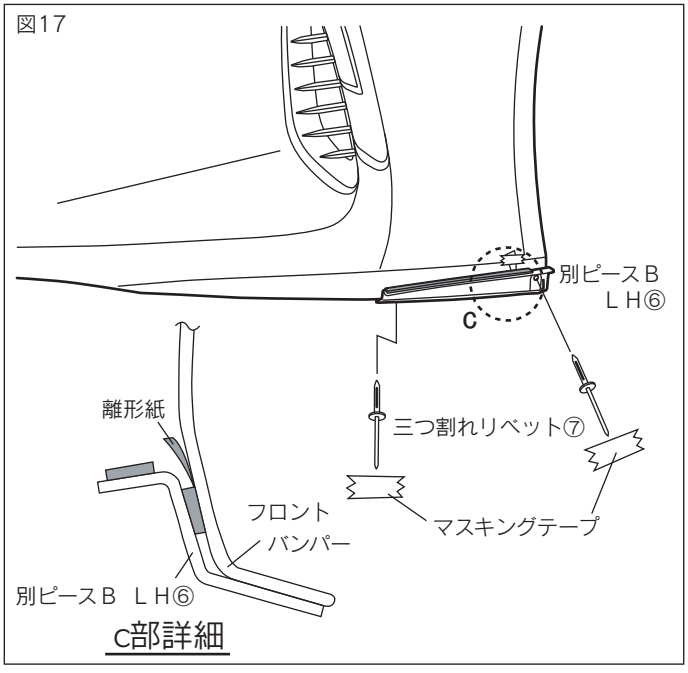
図16



15.図16のように、別ピースB　LH⑥の両面テープの離型紙を、矢印の向きに約30mm剥がし、マスキングテープで裏側に貼付ける。
（左右各１箇所）

⚠注意：両面テープの離型紙を全て剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

図17



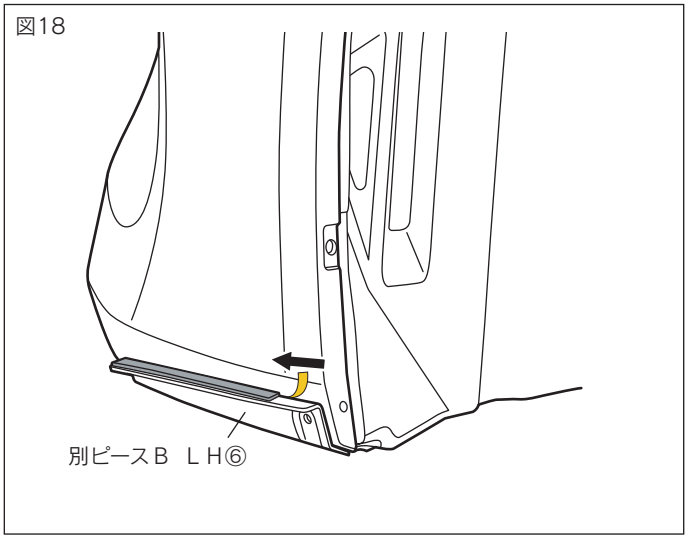
16.図17のように、三つ割れリベット⑦を差し込み、マスキングテープ等で貼付けて仮固定する。　（左右各２箇所）

図17のように、離形紙の出方を確認し、マスキングテープ等で貼付ける。
（左右各１箇所）

⚠注意：三つ割れリベットの固定は離型紙を剥がした後に作業を行ってください。
この時点で三つ割れリベットを固定してしまうと離型紙が剥がせなくなる場合があります。

⚠注意：三つ割れリベットにはスモールフランジとラージフランジの２種類が同梱されていますので、間違えないように注意してください。

図18



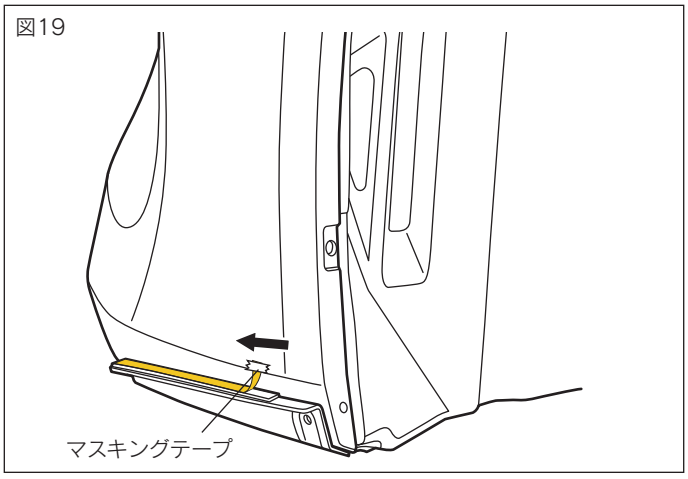
17.図18のように、別ピースB⑥をフロントバンパーに押し当て、両面テープの離型紙(左右各１箇所)を剥がしながら貼付け圧着する。
{49N(5kgf)以上}

18.作業16で仮固定した三つ割れリベット⑦を本固定する。　（左右各２箇所）

⚠注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約４０℃程度に暖めてください。

⚠警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥がれが発生する恐れがあります。

図19

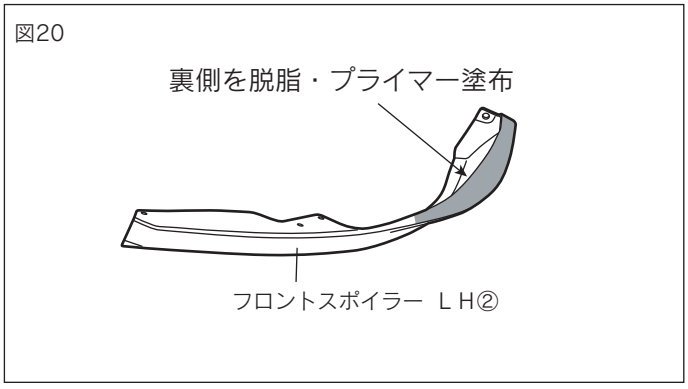


19.図19のように別ピースの両面テープの離形紙を30mm程度剥がし、フロントバンパーにマスキングテープ等で貼付ける。

（左右各1箇所）

⚠注意：両面テープの離型紙を全て剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

図20

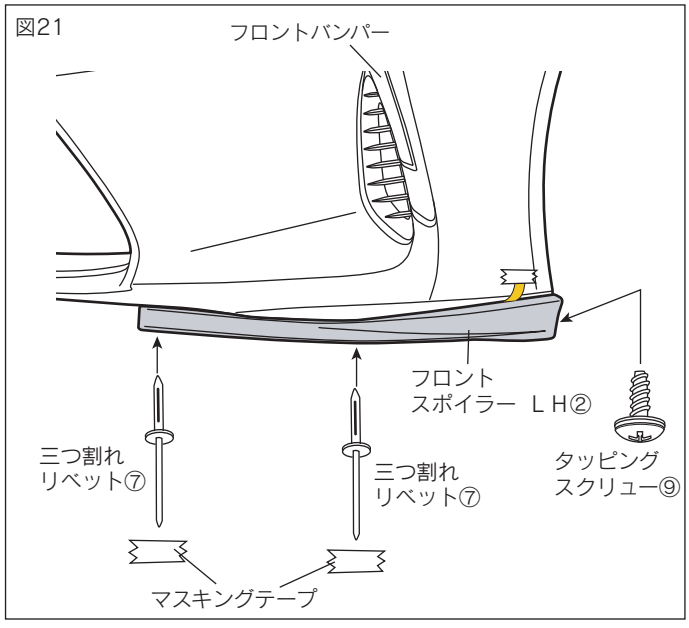


20.図20のようにフロントスポイラー②の別ピースB⑥の両面テープ貼付部の汚れを取除き、IPAで一方向にふいて脱脂し、PACプライマーK−500⑭を塗布する。

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、１０分以上乾燥させてください。

図21



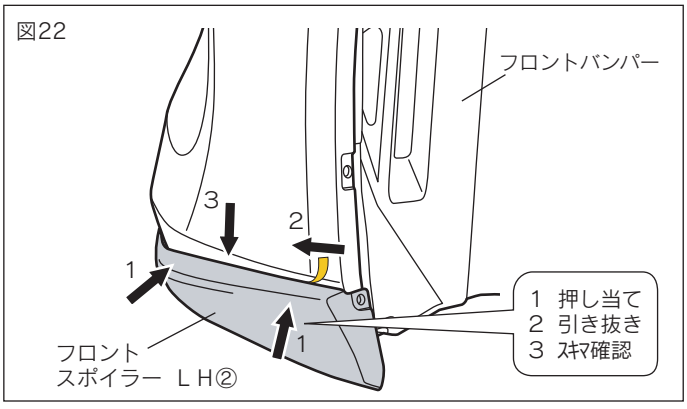
21.図21のように三つ割れリベット⑦とタッピングスクリュー⑨で仮固定する。

（左右各3箇所）

⚠注意：三つ割れリベットの固定は離型紙を剥がした後に作業を行ってください。
この時点で三つ割れリベットを固定してしまうと離型紙が剥がせなくなる場合があります。

⚠注意：三つ割れリベットにはスモールフランジとラージフランジの２種類が同梱されていますので、間違えないように注意してください。

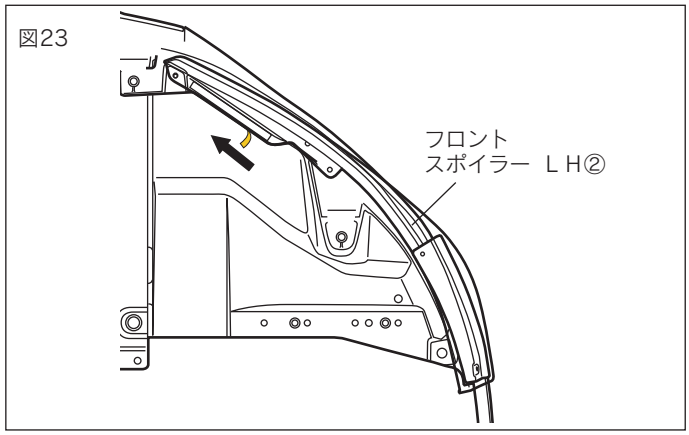
図22



22.図22のように、フロントスポイラー②をフロントバンパーに押し当て、両面テープの離型紙(左右各1箇所)を剥がしながら貼付け圧着する。

{49N(5kgf)以上}

⚠注意：両面テープを貼付ける際は、フロントスポイラーをバンパーに押し当てながらスキマ無い様に離形紙を抜いて、貼付けて下さい。

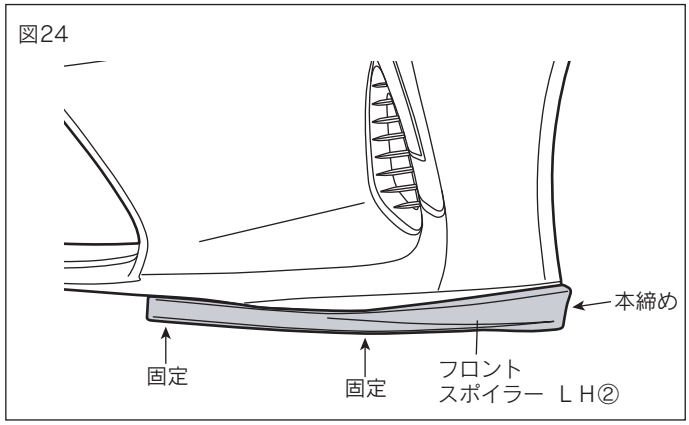


23.図23のように、フロントスポイラーLH②を別ピースA LH④に押し当て、両面テープの離型紙(左右各１箇所)を剥がしながら貼付け圧着する。

{49N(5kgf)以上}

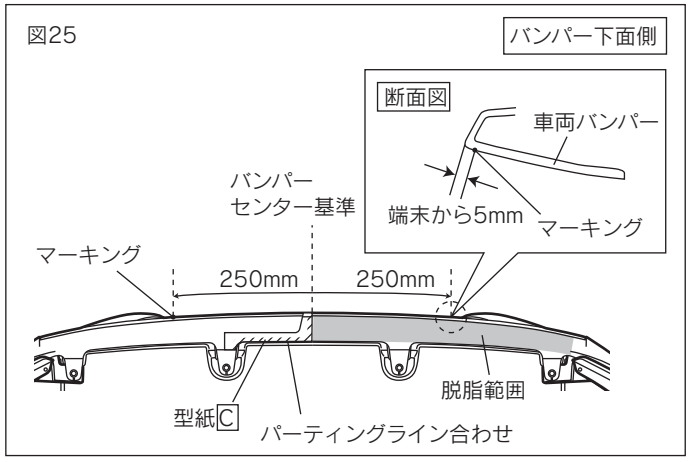
⚠注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約４０℃程度に暖めてください。

⚠警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥がれが発生する恐れがあります。



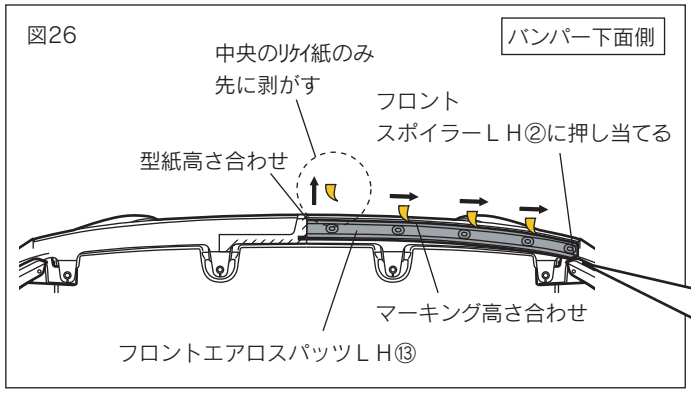
24.図２４のように作業２１で仮固定した三つ割れリベット⑦を固定し、タッピングスクリュー⑨を本締めする。　（左右各３箇所）

⚠注意：タッピングスクリュー⑨は強く締めすぎないこと。
フィルムがよれて破れる恐れがあります。

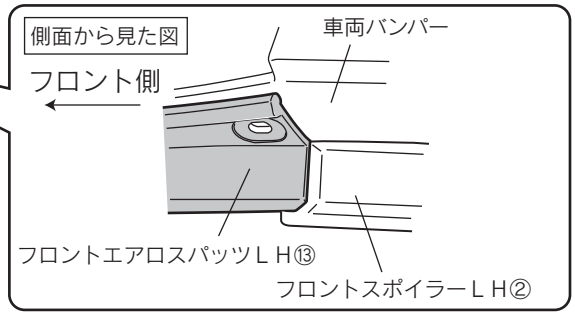


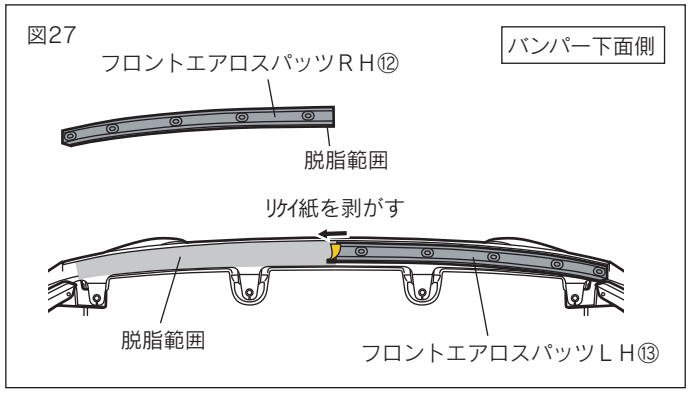
25.図25のように型紙⑮Cをパーティングライン合わせでバンパー下面に貼付ける。
バンパー中央（型紙C端末）から形状に沿って250mm、端末から5mmのポイントをマーキングする。　（左右各１箇所）

26.図25のように車両バンパーのフロントエアロスパッツLH⑬貼付部の汚れを取除き、IPAで一方向にふいて脱脂する。

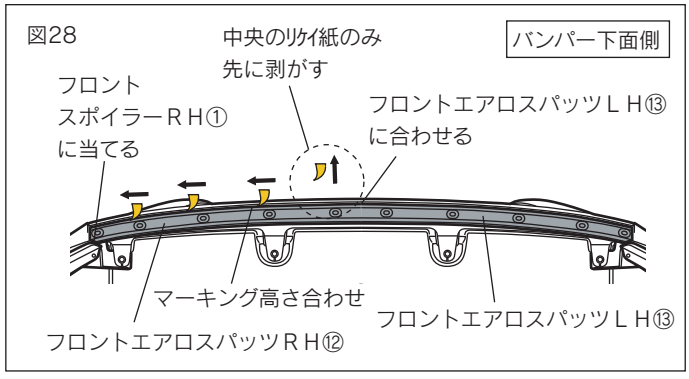


27.図26のようにフロントエアロスパッツLH⑬の離形紙をめくる。
型紙の製品取付高さ、作業25でマーキングしたポイント、フロントスポイラーLH②の端末、の3点に合わせてフロントエアロスパッツLH⑬を貼付ける。

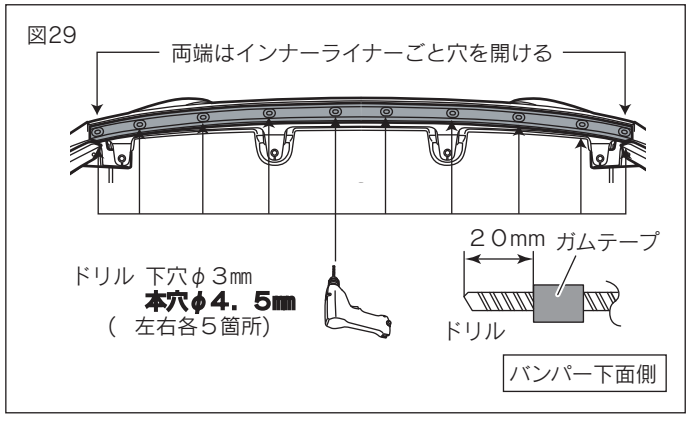




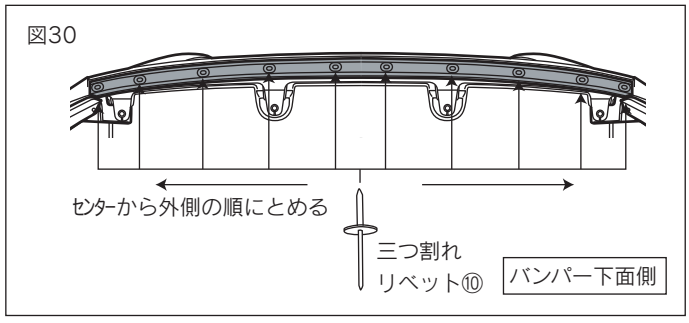
28.型紙Cを剥がし、図27のように車両バンパーのフロントエアロスパッツRH⑫貼付部の汚れを取除き、IPAで一方向にふいて脱脂する。



29.図28のようにフロントエアロスパッツRH⑫の離形紙をめくる。型紙の製品取付高さ、作業25でマーキングしたポイント、フロントスポイラーRH①の端末、の3点に合わせてフロントエアロスパッツRH⑫を貼付ける。



30.図29のように、φ3mm、φ4.5mmのドリルの先端にストッパーになるよう20mmの位置にガムテープを巻きつけφ3mm、φ4.5mmの順にドリルを使用してフロントエアロスパッツの穴位置に穴をあける。　（左右各5箇所）



31.図30のように、作業29で穴をあけた箇所を三つ割れリベット⑩でとめる。
（左右各5箇所）

⚠注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約４０℃程度に暖めてください。

⚠警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥がれが発生する恐れがあります。

⚠注意：両面テープ接着後２４時間以内は洗車しないでください。

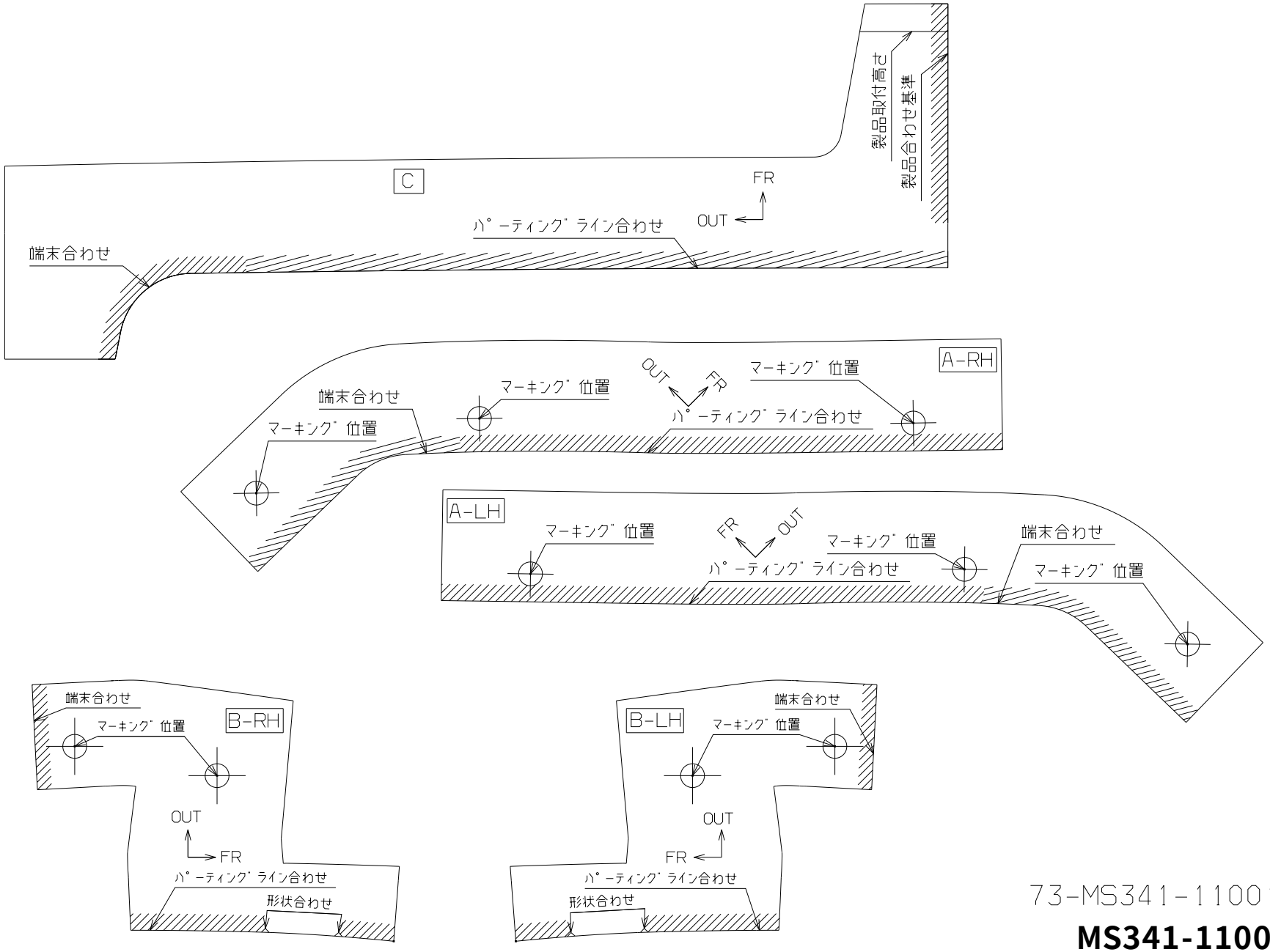
アドバイス：両面テープの接着力は安定するまでに３～５時間程度必要です。製品の取付後は最短３時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、かからないようにオープンタイム（静止時間）をお取ください。

■取付完了後の点検・注意事項

1．フロントスポイラーがタッピングスクリューにて、車両に確実に取付けられているか点検する。
2．フロントスポイラー及び車両部品に傷を付けていないか点検する。
3．製品の全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。

株式会社トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
ＴＲＤ商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-2121
https://www.trdparts.jp/

TOYOTA CUSTOMIZING & DEVELOPMENT



73-MS341-11001-A00

MS341-11002/3

脱脂作業要領書

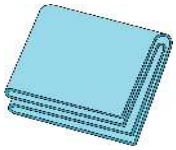
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　（約３分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約６分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約４分）
合計　約 13 分

■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等

水拭き用バケツ


合成セーム皮

脱脂剤用
スプレーボトル

ゴム手袋

DRY 用
ウエス

WET 用
ウエス

イソプロピルアルコール(IPA)
純度 70%程度を推奨
※純度 100%はモールを痛めるため
使用しないこと

■　脱脂作業上の注意事項

1．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

使用禁止

ブレーキクリーナー
パーツクリーナー

ホームセンター等でキャンプ用
燃料用として販売されている
ホワイトガソリン〔白ガス〕

市販のブレーキ・パーツクリーナー及びキャンプ用品や燃料用のホワイトガソリンは
油脂分や不揮発性添加物が含まれているものがありますので使用しないで下さい。
コーティング剤の下地処理剤は、用途と異なるため脱脂作業には使用しないで下さい。
脱脂不足により、浮き・ハガレの原因となります。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

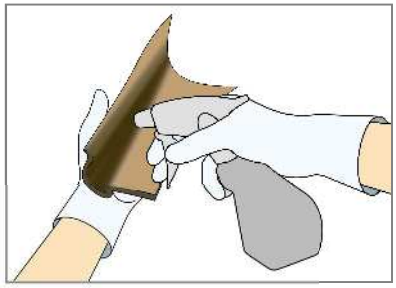
- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

水拭き用バケツ

合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。

WET 用ウエス



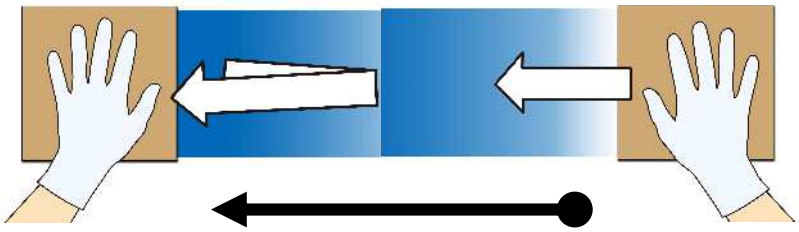
※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

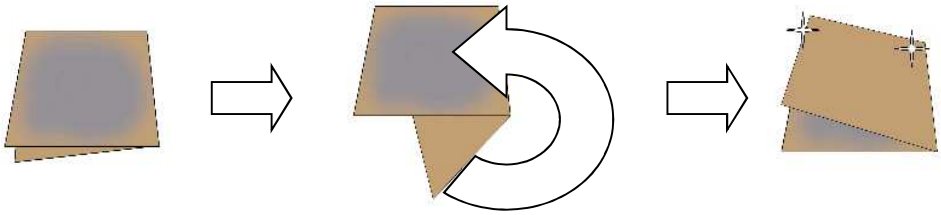
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。